

知る！

プロ

プログラム



「感じるー鈴木昭男と宮北裕美のありかた」展（鳥取県立博物館 / 2023）オープニングパフォーマンス 撮影：bozzo



金井 悠《bukubuku fukusuke》(2021)



金井 悠《sub-sub-terrestrial_1》(2022)

「アーティスト」
×
「京丹後の文化的資源」
創作ワークショップ

参加者募集



@kyotango_artfestival



宮北裕美「Drift」ビデオ / スチル (2015)



川田知志「彼方からの手紙」展（ARTCOURT Gallery/2022）撮影：来田猛



川田知志「うつしのまなざし」展（京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA/2022）撮影：来田猛

京丹後アートフェスティバル 2023

KYOTANGO ART FESTIVAL 2023

期間 | 2023年9月23日(土・祝)～2024年2月25日(日)

会場 | 京丹後市内各所

この秋からはじまる京丹後アートフェスティバルでは、普段あまり目にするものがない素材、この時代だからこそ生まれる表現など、今あるジャンルやカテゴリに当てはまらない多様な表現方法を用いるプロのアーティストの創作を体験しながら、京丹後の文化や歴史について深掘りする「知るプログラム」を実施します。

3年を1タームとした本プログラムの初年度のテーマは「多様な表現を知る」です。

(3年継続参加が必須ではありませんが、2年目以降は「制作」、そして「発表」へとステップアップした内容を予定しています)

市内を拠点にしながら国内外で活躍する3組のアーティストが、このまちの文化的資源をモチーフに、彼らの専門性を生かした京丹後オリジナルのワークショップです。

作品鑑賞だけでは得られない、新しい気づきや見方、そして今までにない交流がきっと経験できるでしょう。ぜひこの貴重な機会を体験してみてください。

参加申し込み

ワークショップは5回連続講座で、参加費は無料、定員は各10名程度です。参加を希望されるかたは応募期間内に、①希望するワークショップ②お名前(ふりがな)③ご住所④電話番号⑤性別⑥年齢⑦メールアドレス⑧相談事項(参加できない日時、身体に障がいがある、母語が異なるなど)を明記のうえ、お申し込みください。応募者多数の場合は抽選を行います。

	応募期間	結果通知
ワークショップ①	2023年8/25(金)～9/13(水) 17:00	9/15(金)
ワークショップ②	2023年8/25(金)～10/2(月) 17:00	10/15(水)
ワークショップ③	2023年8/25(金)～10/2(月) 17:00	10/15(水)

応募方法 (京丹後市教育委員会事務局 生涯学習課 担当: 小森、寺島)

▶ 応募フォーム (右記QRを読み込んでください)

▶ 電話 0772-69-0630 (平日 8:30～17:15のみ)

▶ ファックス 0772-68-9061



ワークショップ ①

「郷土資料」×「陶芸」 みなみなさないをする

9/24 (日)

時間 13:00～16:00
会場 いさなご工房

アーティスト自己紹介
屋外での陶板ワークショップ

10/29 (日)

時間 13:00～16:00
会場 郷土資料館

鑑賞ワークショップ(1)
～お気に入り資料を
見つけよう～

11/19 (日)

時間 13:00～16:00
会場 郷土資料館

鑑賞ワークショップ(2)
～郷土資料に名前を
つけてみよう～

12/17 (日)

時間 13:00～16:00
会場 いさなご工房

創作ワークショップ
～新しい郷土資料
つくる～

1/20 (土)

時間 13:00～16:00
会場 郷土資料館

郷土資料館での鑑賞会
ふりかえり



金井 悠 Kanai Yu

講師プロフィール

1984年兵庫県生まれ、2009年京都精華大学修士課程陶芸専攻修了。2008～2013年まで「contact Gonzo」のメンバーとして、身体を激しく接触させるパフォーマンスやインスタレーションを中心に、国内外の美術館・劇場等で発表する。2014年から自身の活動を開始。2022年京丹後に移住し、現在は「出土した玩具」をテーマに制作している。

アーティストからコメント

郷土資料館での鑑賞体験をもとに、この町の新たな郷土資料を想像するワークショップです。

芸術に触れることで得られるものの一つに、「自分なりの視点がある、想像力(創造力)が養われる」という点があると私は思います。美術の授業って、実生活では役に立ちにくいと感じていませんか? でもこういった『見えないものを見る力』はむしろ、これからの

社会を生きていく上でとても重要なもののように思えるのです。そしてそれは学校では教えてくれません。

この一連のワークショップが、自分なりの視点を持つ、きっかけの一つになればと思っています。

対象 ▶ 創作や表現に関心のある中学生・高校生(13歳～18歳)

会場 ▶ いさなご工房(京丹後市峰山町五箇44-1)
京丹後市立郷土資料館(京丹後市網野町郷55)



宮北 裕美 Miyakita Hiromi

講師プロフィール

アメリカ・イリノイ大学芸術学部ダンス科卒業。舞台芸術の出演や振付を経て「立つ歩く座る」と言ったシンプルな動作、身の回りのモノや現象にダンスを見出し、即興パフォーマンスや視覚芸術の可能性を探る。2012年京丹後に拠点を移し、浜で採集した自然の石を打つダンス「Nutu(ヌトゥ)」を創始、国内外で上演。近年は美術館、鉄道、公園、日本庭園などでパフォーマンスを手がけるほか、ダンサーとして活動してきた固有の時間感覚や空間感覚を美術表現へと持ち込み、3331 アーツ千代田(東京)、Kunsthaus Dresden(ドイツ)、鳥取県立博物館(鳥取)などで発表している。

ワークショップ ②

「劇場」×「ダンス」 たんごのだんす、どうなっとるだあ

10/15 (日)

時間 13:30～16:30
会場 峰山地域公民館

アーティスト自己紹介

10～11月

時間 未定
会場 京丹後市内

ダンス表現のリサーチ(1)
～丹後エリアの表現に
会いに行く～

11/25 (土)

時間 9:30～12:30
会場 峰山地域公民館

ダンス表現のリサーチ(2)
～国内外の事例紹介～

1/8 (月・祝)

時間 未定
会場 京都府丹後文化会館

劇場探検ツアー

1/28 (日)

時間 13:30～16:30
会場 京都府丹後文化会館

舞台作品の制作を
体験する

アーティストからコメント

10代のころにダンスに熱中した私は、30数年経った今も踊り続け、その頃には想像もつかなかったような表現を探っています。即興のパフォーマンスだったり、ダンスを絵画や映像作品へと転換し、自然の営み、動かない石やガラスにもダンスを見出すのです。

移住して10年以上になりますが、この町で触れる機会のない表現はまだまだまだあります。ここ京丹後には伝統舞踊のほか、ヒップホップやモダンバレエなど、様々なサークルとそこで踊るたくさんの子どものたちがいます。多くの人がダンスを楽しみ、活動を続けてほしいです。

このワークショップでは、多様なダンス表現を知り、舞台制作の裏側に触れることで「ダンスとは何か?」「どうやったらよい公演がつけられるのか」を実践を通して体験します。

そしてこの先、丹後文化会館を会場にした、丹後にしかない新しいダンスフェスティバルの開催を目指します。

対象 ▶ ダンス表現や、舞台作品の企画制作に関わってみたい方

会場 ▶ 峰山地域公民館、京都府丹後文化会館
(京丹後市峰山町杉谷1030)

ワークショップ ③

「小牧源太郎」×「フレスコ画」 京丹後ルネサンス

10/22 (日)

時間 10:00～11:30
会場 大宮ふれあい工房

アーティスト自己紹介

10/22 (日)

時間 13:00～16:00
会場 大宮ふれあい工房

小牧源太郎作品鑑賞
学芸員によるレクチャー

12/2 (土)

時間 13:00～16:00
会場 丹後古代の里資料館

ジュルレアリスムの
手法を用いた
モチーフのスケッチ

1/14 (日)

時間 13:30～16:30
会場 大宮ふれあい工房

フレスコ画
ワークショップ(1)

2/3 (土)

時間 13:30～16:30
会場 大宮ふれあい工房

フレスコ画
ワークショップ(2)



川田 知志 Kawata Satoshi

講師プロフィール

2013年京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻卒業。大学でフレスコ画を学んだ後、銭湯や市役所などの様々な公共空間で作品制作、発表する。都市近郊の均質化した景色をモチーフにしながら、現代社会を記憶する壁画を目指し活動している。近年の主な個展に「彼方からの手紙」(ARTCOURT Gallery)、企画展に京都市立芸術大学資料館収蔵品活用展「うつしのまなざし」(京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA)、「ホモ・ファベルの断片一人ものづくりの未来」(愛知県陶磁美術館)など。現在、京丹後市を拠点に活動。

アーティストからコメント

全5回のワークショップでは、小牧源太郎の作品鑑賞、学芸員によるレクチャー、歴史資料館での資料制作、それらをもとにしたフレスコ画の制作体験を行います。

京丹後市出身で、寺社仏閣の祈りの中に、人間や社会の真相に潜む非合理世界を見ていた小牧は、戦後の京都で傾倒前近代の女神々を描くことに力を入れました。

ワークショップの序盤は、小牧のモチーフや構成、形式に対しての思いを学びます。次に古代の里資料館で古代丹後の歴史からモチーフ

を見つけ、小牧の絵画制作に重ねた画面構成を行い、最後にフレスコ画の制作体験を行うことによって、丹後半島の古典から小牧源太郎の絵画制作までを一連のワークショップとして繋ぎます。

ワークショップで制作したフレスコ画は、成果発表として2月に大宮ふれあい工房で展覧会を予定しています。

対象 ▶ 絵画制作や、作品鑑賞に関心のある方

会場 ▶ 大宮ふれあい工房(京丹後市大宮町三坂105-3)
京丹後市立丹後古代の里資料館(京丹後市丹後町宮108)